



「第4回日本ケータイ小説大賞」が決定
こども審査員絶賛！ 蘭さんの『風にキス、君にキス。』

株式会社毎日新聞社（東京都千代田区一ツ橋1-1-1、朝比奈豊代表取締役社長）、スタート出版株式会社（東京都中央区日本橋3-3-9西川ビル、菊地修一代表取締役社長）で構成する日本ケータイ小説大賞実行委員会は、読者投票などを勝ち抜いた15作品の中から、大賞1作品（賞金100万円）、優秀賞1作品（賞金30万円）など第4回日本ケータイ小説大賞の入賞作品を決定しました。大賞作品は1月14日に単行本として発売し、その他の作品も順次書籍化されます。今回は「15歳のキモチ」とテーマを設定し、読者のこどもたちの心に残る作品を募集しました。そのため選考会では、“おとな審査員”3名に加え、15歳を中心とした5名の“こども審査員”に参加をお願いし、世代の垣根を越えた率直な意見交換を行い決定しました。なお応募総数は2529作品でした。

	著者名	作品名
大賞	蘭（まゆ）	『風にキス、君にキス。』
優秀賞	沙絢（さあや）	『君を、何度でも愛そう』
優秀賞		該当なし
TSUTAYA賞	蘭（まゆ）	『風にキス、君にキス。』
TBSブックス★賞	蘭（まゆ）	『風にキス、君にキス』
特別賞	涼宮リン（すずみやりん）	『俺様王子と秘密の時間』

※名前はいずれもペンネーム。（ ）は読みがな。

■「第4回日本ケータイ小説大賞」概要

主 催：日本ケータイ小説大賞実行委員会（毎日新聞社、スタート出版）

特別協力：NTTドコモ、ラブベリー

協 賛：TSUTAYA

後 援：TBSテレビ、スポーツニッポン新聞社

こども審査員：朝日 奈央（ラブベリー専属モデル、タレント）、若林 芹奈（ラブベリー専属モデル）、藤波 心（読者モデル）、ばにい（ケータイ小説作家）、燈色（ケータイ小説作家）

おとな審査員：久保田 智子（TBSテレビアナウンサー）、内藤 麻里子（毎日新聞東京本社学芸部編集委員）、新井 俊也（スタート出版専務取締役）（敬称略）

大賞・TSUTAYA賞・TBSブックス★賞 『風にキス、君にキス。』 繭

繭（まゆ）

大阪府在住 17歳の高校3年生 女性 2009年『Sweet Honey 上・下』、『××なアイツ。上・下』の2作がアスキー・メディアワークスより文庫化され好評を博す。趣味は読書で最近では東野圭吾シリーズにハマっている。好きな言葉は「夢は逃げない。逃げるのはいつも自分だ」。

作品紹介

日向は藤島学園陸上部のトップランナー。マネージャーの柚は彼の幼なじみで、彼を応援しつつ、淡い恋心を抱く。しかし突然の事故で、日向は選手生命を絶たれる……。走ることの楽しさだけでなく努力することの大切さなど、生きることの意味を考えさせられる、爽やか青春ラブストーリー。

審査員:朝日 奈央(あさひ なお)氏評

今回、『風にキス、君にキス。』を読んでみて初めて小説って面白いなあって思いました！！あさひはどっちかといえば漫画派なので、あんまり本とか小説とか読まないし正直苦手なんですね！（T.T）けど今回読んでみて、『次のページがめっちゃ気になる！！』とか凄く思ったし、また今度違った小説も読んでみようかなあって思いました！！それくらい面白かったです！！っていうかこんな純粋な恋愛とか凄い憧れます(≧▽≦)！！みんなこの作品を読んだらきっとそう思うと思います！！是非共感してほしいな(-^o^-)なのでみなさん『風にキス、君にキス。』読んでみてください！！

審査員:若林 芹奈(わかばやし せりな)氏評

切なくてキュンとくる場面がたくさんで、早く次のページも見たい！と、自然とスラスラと手が進められました。読みやすいし、柚の気持ちが自分が体験してるかのようにリアルで、物語に入り込めた！健気なところだったり、希望を信じられる柚がとにかく可愛いかった！柚や日向の周りの人達の優しさにも心が温かくなる!!!あと、日向のキャラが個人的にすごい好きです！笑

審査員:藤波 心(ふじなみ こころ)氏評

陸上部のエースとマネージャーという設定が私たちの年代にぴったりで想像しやすく、とても共感できました。「どうなっちゃうの～??」っていうドタバタはあるけど、最後はビックリな展開で新鮮でした!!

審査員:ばにい氏評

失ってから気づいた「走れること」の大切さが伝わってきてよかったです。1人の選手として、1人の大切な人として、日向を一途に好きでいる柚の気持ちに、とても共感することができました。日向の1つ1つの言葉が胸に染みて、今一瞬一瞬が大切なんだなと実感させられました。

審査員:燈色(ひいろ)氏評

全体を通して爽やかな印象の作品でした。登場人物がみんな明るく優しい性格だったからだと思います。心理描写が上手く、すんなりと物語に入り込むことができ、初めてケータイ小説で本気で泣いてしまいました。そして事故後、それでも陸上に向き合おうとする日向の姿には“今”を強く生きる大切さを教えてもらいました。所々にある格言のような言葉たちがとても気に入っています。大きな感動を呼ぶ、いい作品です。

優秀賞
『君を、何度でも愛そう。』 沙絢

沙絢（さあや）

宮城県在住 21歳 女性 趣味はネイル、カラオケ、ショッピング、音楽、DVD鑑賞、絵描き、ケータイ小説書くこと読むこと。イラストはかなりの腕前でプロのケータイ小説作家からもオーダーがある。座右の銘は刹那主義。

作品紹介

原因不明の胸の病に侵されている小4の綾は、田舎町で同い年の京と出会う。いつしか二人は幼い恋を育むが、綾の病を知った京はある重大な決断に踏み切り……。自然と共に生きる子供達の等身大ピュアラブストーリー。

審査員：若林 芹奈氏評

恋をしている幸せさだとか嬉しさだとか、すごく共感できる！方言が使われている小説を読むのは初めてでとても新鮮でした！次々に起こる困難にもハラハラドキドキでした！小学生時代から繋がる恋物語っていうのも初めてで…、だけど恋って年なんか関係なく、何よりも大切に思えるものなんだなって、恋って素敵だなって思えました。

審査員：藤波 心氏評

小さな子の恋から始まって、大人な恋で終わるところがすごく気に入りました！このお話はホント泣けます!! はじめはどうなるかわかんなかったけど。最後まで読むと、あ〜なるほどって繋がる物語です!!

審査員：ばにい氏評

病気である綾をずっと想い続け、ずっと支え続けた京がとても男らしいと思いました。実際私が病気になってしまったら、と考えると、綾のように強くはられないなと感じました。でも綾が強くいられたのも、京が近くで支えてくれたからだと思います。いつもそばで自分を支えてくれている人の大切さがとてもよくわかりました。

審査員：燈色氏評

人を愛する、人を想う、そんなあたりまえのことの素晴らしさに気づかせてくれた作品でした。想いすぎるあまりに時々すれ違いながらも惹かれ合う、綾と京の間に確かな絆を感じます。京の綾への一途な想いにも心を揺さぶられました。そして、そんなふたりを取り巻く周りの人たちも温かく、友達や家族という存在がいるという幸せにも気づかせてくれました。一本の映画を観るような、ドラマチックな物語でした。

特別賞
『俺様王子と秘密の時間』 涼宮リン

ファイナル15作品中ページビュー数、レビュー数、感想数、読者数、ファン数が最多であったため特別賞を設けました。

【この件の問い合わせ先】

「日本ケータイ小説大賞実行委員会」事務局 スターツ出版株式会社書籍編集部内
担当：松島 滋、長井 泉

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-3-9 西川ビル4F

TEL.03-6202-0393 FAX.03-6848-5500 E-mail: info@nkst.jp